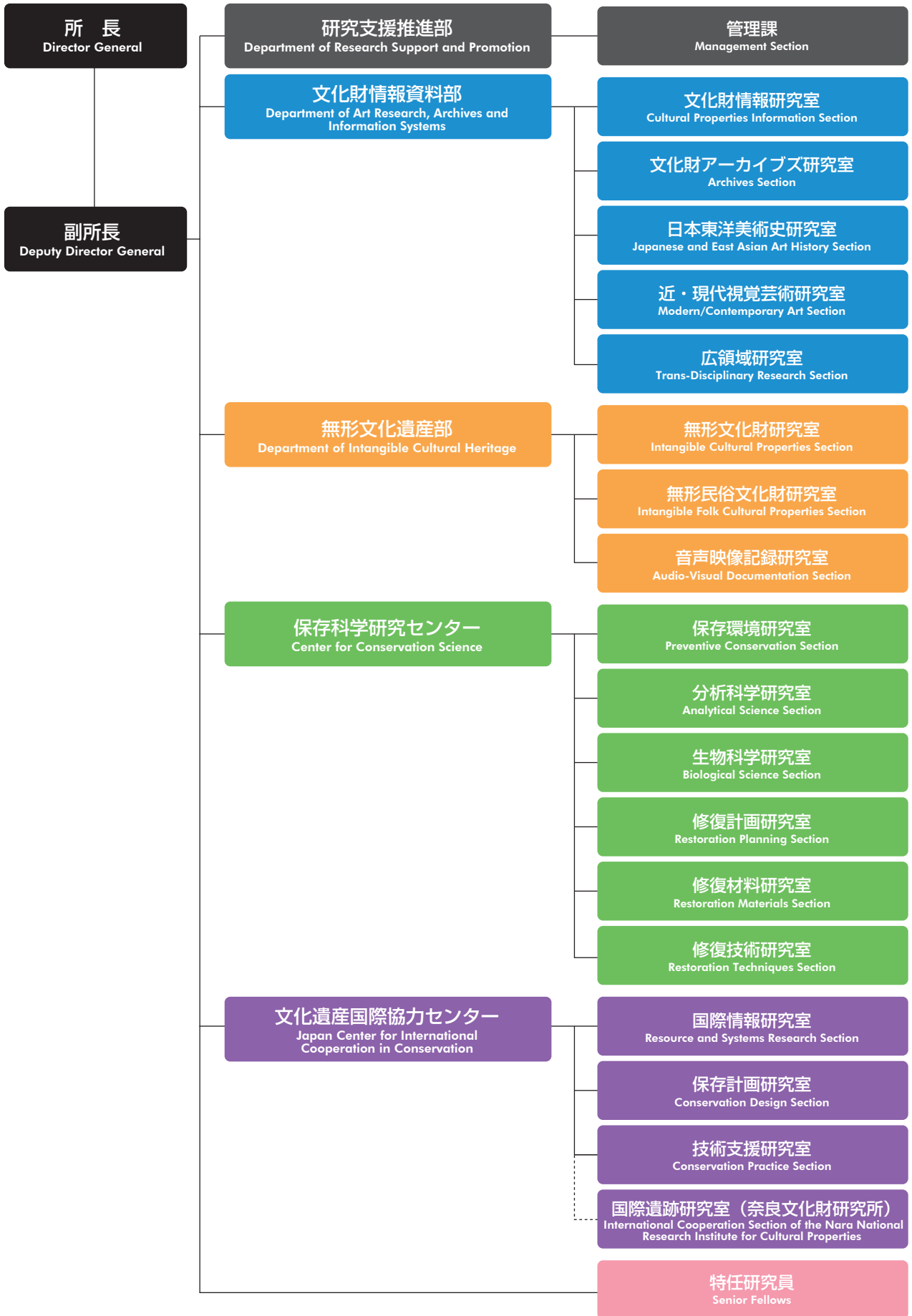


1. 組織図



2. 組織の概要と職員

所長・副所長

所長 齊藤 孝正 (日本陶磁史)

副所長 早川 泰弘^{*1} (分析化学)

* 1 令和3年4月1日付昇任

研究支援推進部

組織概要 研究支援推進部は、東京文化財研究所の事務部門として、管理課に総務係、企画渉外係、財務係、契約係を置き、総務、人事、他機関との渉外、国際交流、財務管理、会計、施設管理等の業務を通じ研究支援を行っている。
本年度も継続して、各係内の担当業務の整理を行うなど合理化を検討・実施し、各研究部門との連携を深め、研究所の円滑な運営に努めた。

総務係

東京文化財研究所における業務方法書の変更、中期計画及び年度計画の取りまとめ、事業年度の業務実績についての評価委員会の評価に関する事務を行っている。また、情報公開に関する事務、秘書業務に関する事務、文書の授受・発送に関する事務、文化庁等の他機関、法人本部及び各施設並びに所内の連絡調整に関する事務、人事管理に関する事務（アソシエイトフェロー、有期雇用職員、客員研究員、調査・研究アシスタントの任免に関する事務を含む）、共済組合に関する事務、栄典及び叙勲に関する事務等を行っている。

企画渉外係

海外渡航に関する事務、研修及び国際研究集会等の実施に関する事務、国際交流等に係る政府機関及び関係団体との連絡調整に関する事務等を行っている。また、外部資金に関する事務、在外日本古美術品修復協力事業に関する事務、寄付金の受入、研究所視察及び見学の受入と対応、所蔵の写真、出版物等の使用許可に関する事務、規定の制定・改廃に関する事務等を行っている。

財務係

財務諸表の作成に関する事務、決算報告書の作成に関する事務、監事及び会計監査人の監査に関する事務、予算・決算に関する事務、資金管理及び出納に関する事務等を行っている。

契約係

物品及び役務の調達、契約の執行に関する事務、給与計算及び給与の支払いに関する事務、諸謝金及び、旅費の執行に関する事務、物品、建物及び設備等の管理に関する事務等を行っている。

研究支援推進部長 川島 美奈子^{*1}
管理課長 安達 佳弘^{*1}
総務係長 井上 裕介
事務補佐員 並木 沙保里^{*2}
事務補佐員 荻堂 惟智乃
事務補佐員 桜井 春香
事務補佐員 内山 海優
事務補佐員 高木 貴紀^{*3}
企画渉外係長 三本松 俊徳
任期付専門職員 廣原 大樹^{*4}
任期付専門職員 佐々木 薫^{*5}
事務補佐員 石川 絵梨子^{*6}
事務補佐員 上野山 礼
財務係長 田口 晃章^{*7}
事務補佐員 岸 薫美
事務補佐員 坂田 茉莉衣
事務補佐員 高畠 さやか^{*8}
事務補佐員 川上 由恵^{*9}
契約係長 鈴木 道夫^{*1}
事務補佐員 安藤 遥^{*10}
事務補佐員 辻 光紗
事務補佐員 田中 亜純
事務補佐員 吉岡 かいな
事務補佐員 白木 真理
事務補佐員 溝口 径子
事務補佐員 田中 有花^{*2}
事務補佐員 森 菜梨恵^{*11}

* 1 令和4年3月31日付転出

* 2 令和3年10月31日付退職

* 3 令和3年12月1日付採用、令和4年3月31日付退職

* 4 令和3年7月31日付退職

* 5 令和3年10月1日付採用

* 6 令和3年7月15日付退職

* 7 令和3年4月1日付東京国立博物館から異動

* 8 令和3年6月30日付退職

* 9 令和3年10月18日付採用

* 10 令和4年1月31日付退職

* 11 令和4年1月1日付採用

組織概要 文化財情報資料部は、文化財に関する調査研究を実施するとともに、調査研究の成果・情報についてのアーカイブ化を進め、適した情報インフラストラクチャを整備し、研究の成果・情報の適宜公開を行う。また国内外の研究機関との研究交流を実施する。調査研究においては、1) 黒田清輝(1866-1924)の遺言により造られた黒田記念館に設置された美術研究所以来の黒田周辺の作家等との交流を中心とした近現代作品の研究を進めるとともに、2) 日本及び東アジアの美術に関する調査研究を行い、美術史研究に資する高質な資料や情報を作成・提供する。また、3) 時代や地域などにとらわれない横断的な広領域にわたるテーマを設定し、人文学のほか、自然科学的研究手法の応用を進め、多角的な視点から研究を進める。あわせて、黒田記念館における作品と研究成果の展示について当部が担当する。4) 研究情報のアーカイブ化においては、文献資料、過去の調査記録等のデジタル化を推進し、研究のための閲覧促進を目的とする画像データベースを作成・運用する。画像資料にとどまらず文献資料及び研究情報を付加した文化財の専門的アーカイブを構築する。5) 研究成果の公開の一環として、『美術研究』(年3冊)、『日本美術年鑑』(年1冊)ほかの公刊、オープンレクチャーを開催する。所内各部門の研究情報の共有化のために総合研究会を企画・開催し、各年度の研究や事業を総括した年報編集の事務を取り扱う。6) 研究情報発信のため、所内広報委員会の情報システム部会ならびにアーカイブ委員会下にあるアーカイブズ・ワーキンググループ協議会を運用・管理し、ウェブサイト及び外部公開データベースの充実を図る。さらに、資料閲覧室で架蔵図書等の諸資料の公開閲覧を担う。

文化財情報研究室

情報システムセキュリティの確保に留意しつつ、調査研究及びウェブを活用した成果公開のための情報基盤の整備を行うとともに、文化財情報データベースを拡充する。また、ウェブサイトの構築・運用を通じて研究成果公開を行う。さらに、文化財情報及び情報技術の文化財保護への活用について研究を行う。

画像情報室：光学理論やデジタル技術を応用した最先端の画像形成技術を開発・駆使し、視覚的な研究情報を提示する。

文化財アーカイブズ研究室

文化財に関する画像や図書等の情報・資料を収集・整理し、文化財情報統合アーカイブを作成し、全所的にとりまとめて公開する。

資料閲覧室：受け入れた文化財関連の図書や定期刊行物、展覧会カタログ、写真資料などを整理し、月・水・金曜日に一般の利用者に公開するほか、各種の書誌や研究情報のデータベースを作成する。また、所蔵資料のデジタル化と目録作成を進め、提供する。

日本東洋美術史研究室

江戸時代までの日本と東アジアの美術を研究する。また、美術の価値形成の多様性を解明するため、美術史研究のための資料学的な基盤を整備する。

近・現代視覚芸術研究室

明治以降の日本美術を研究する。近現代美術に関わる研究資料を収集・整理し、研究手法を開発するとともに、現代美術の動向を調査・研究する。

広領域研究室

美術のジャンルや時代、地域を横断する課題に取り組み、文化財に関わる諸分野と連携して、広い視野から文化財を研究し、その材料・技法・制作過程等を明らかにする。

文化財情報資料部長	塩谷 純	(日本近代絵画史)
文化財情報研究室長	二神 葉子	(考古科学)
文化財アーカイブズ研究室長	江村 知子	(日本絵画史)
日本東洋美術史研究室長	小林 達朗 ^{*1}	(日本中世絵画史)
近・現代視覚芸術研究室長	塩谷 純	(日本近代絵画史)
広領域研究室長	小林 公治	(物質文化史)
主任研究員	小野 真由美	(日本中近世絵画史)
主任研究員	安永 拓世	(日本近世絵画史)
主任研究員	橘川 英規	(美術資料)
研究員	小山田 智寛	(美学・情報学)
研究員	米沢 玲	(仏教美術史)
研究員	吉田 暁子 ^{*2}	(日本近代絵画史)
専門職員	城野 誠治	(画像情報・文化財写真)
アソシエイトフェロー	野城 今日子 ^{*3}	(日本近現代彫刻史)
アソシエイトフェロー	谷口 每子	(画像形成)
アソシエイトフェロー	黒崎 夏央 ^{*4}	(仏教彫刻史)
研究補佐員	谷口 每子	(画像形成)
研究補佐員	安岡 みのり	(ウェブ作成)
研究補佐員	尾野田 純衣	(美術資料)
研究補佐員	寺崎 直子 ^{*5}	(日本絵画史)
研究補佐員	大前 美由希	(現代美術)
研究補佐員	田村 彩子	(資料保存)
研究補佐員	阿部 朋絵	(美術資料)
研究補佐員	鈴木 良太	(日本近代絵画史)
研究補佐員	大谷 優紀	(日本彫刻史)
研究補佐員	藤井 糸子	(データベース)
研究補佐員	山本 祥子	(美術資料)
研究補佐員	酒井 かれん	(画像形成)
研究補佐員	小林 真美 ^{*6}	(中国美術史)
研究補佐員	横尾 千穂 ^{*6}	(日本現代美術史)
客員研究員	三上 豊	(近現代美術)
客員研究員	丸川 雄三	(情報学)
客員研究員	田中 潤	(近代史料)
客員研究員	片山 まび	(東洋陶磁史)
客員研究員	田中 淳	(日本近代絵画史)
客員研究員	齋藤 達也 ^{*7}	(フランス近代美術)
客員研究員	永崎 研宣	(人文情報学・仏教学)
客員研究員	津田 徹英	(日本彫刻史)
客員研究員	川瀬 由照	(日本彫刻史)
客員研究員	山梨 絵美子 ^{*2}	(日本近代絵画史)
兼務	久保田 裕道 ^{*7}	(無形文化遺産部)
兼務	西 和彦 ^{*7}	(文化遺産国際協力センター)
兼務	早川 典子 ^{*7}	(保存科学研究センター)
併任	皿井 舞 ^{*8}	(東京国立博物館)

* 1 令和4年3月24日逝去

* 2 令和3年4月1日付採用

* 3 令和3年4月30日付退職

* 4 令和3年11月1日付採用

* 5 令和3年12月31日付退職

* 6 令和3年8月1日付採用

* 7 令和3年3月31日付兼務解除

* 8 令和4年3月31日付併任解除

組織概要 無形文化遺産部は、無形文化財（伝統的工芸技術、古典芸能）、無形民俗文化財（風俗慣習、民俗芸能、民俗技術）及び文化財保存技術という、日本における無形文化遺産の全体を対象として、その保存継承に資する基礎的な調査研究を実施している。内容は多岐にわたっており、保護対象の確定や適切な保護手法の確立のためには、無形文化遺産を構成する諸要素の専門的な調査・研究が重要である。また、人によって伝承されるために、年代や社会情勢の変化に伴って変容する要素も大きい。このため、文献的研究の蓄積に加えて、伝承の実態に即した調査研究を実施している。

重要な保護手法である音声・映像による記録については、その作成の実施とともに新たな手法開発についての研究を行っている。無形文化遺産保護にとって、音声・映像記録は、記録保存的役割はもちろんのこと、その伝承ツールとしても重要な意味を持つ。このため、無形文化遺産部では、他機関では行うことのできない希少演目等の記録保存事業を実施すると同時に、既存の記録活用のために、デジタルアーカイブ構築に向けての研究を行っている。

このほかに、無形文化遺産分野についてアジアを中心に海外との研究交流も実施している。

無形文化財研究室

古典芸能、伝統的工芸技術などの無形文化財、及び文化財保存技術について、伝承実態の調査や技法技術の変遷の研究など、その保護に資するための基礎的調査研究を行っている。

無形民俗文化財研究室

風俗慣習、民俗芸能、及び民俗技術などの無形民俗文化財について、その保護に資するための基礎的調査研究を、現在における伝承の実態、伝承組織、公開のあり方等の実地調査に基づいて行っている。また、映像記録作成、公開事業等、現実的な問題について全国の関係者との協議を実施し、その対策の検討も行っている。

音声映像記録研究室

無形文化遺産に関する記録のアーカイブ化、記録作成手法について研究を行っている。また、無形文化財、無形民俗文化財の現状を把握し、後世へ継承するために、それらの音声・映像記録を作成している。

無形文化遺産部長	早川 泰弘 ^{*1}	(分析化学)
無形文化財研究室長	前原 恵美	(古典芸能)
無形民俗文化財研究室長	久保田 裕道	(民俗芸能)
音声映像記録研究室長	石村 智	(文化遺産学)
主任研究員	今石 みぎわ	(民俗学)
研究員	鎌田 紗弓 ^{*2}	(古典芸能)
研究員(文化財防災センター)	後藤 知美	(民俗学)
アソシエイトフェロー	佐野 真規	(映像アーカイブ)
研究補佐員	牛村 仁美	(工芸技術)
研究補佐員	金 昭賢	(古典芸能)
研究補佐員	鈴木 昂太	(民俗芸能)
研究補佐員	中田 翔子	(映像人類学)
研究補佐員	狩野 萌 ^{*3}	(民俗学)
研究補佐員	館野 太郎 ^{*3}	(演劇学)
研究補佐員	橋本 かおる ^{*3}	(古典芸能)
客員研究員	星野 厚子 ^{*4}	(古典芸能)
客員研究員	齊藤 裕嗣 ^{*4}	(古典芸能・民俗芸能)
客員研究員	山崎 剛	(工芸技術)
客員研究員	谷垣内 和子	(古典芸能)
客員研究員	伊藤 純	(民俗学)
客員研究員	俵木 悟	(民俗芸能)
客員研究員	松山 直子 ^{*4}	(工芸技術)
客員研究員	今岡 謙太郎 ^{*4}	(古典芸能)
客員研究員	永井 美和子 ^{*4}	(修復技術)
客員研究員	大西 秀紀	(古典芸能)
客員研究員	菊池 健策	(民俗学)
客員研究員	森下 愛子	(工芸技術)
客員研究員	宮田 繁幸	(民俗芸能)
客員研究員	神野 知恵	(民俗芸能)

* 1 令和3年4月1日付兼務

* 2 令和3年4月1日付採用

* 3 令和3年10月1日付採用

* 4 令和4年3月31日付退職

保存科学研究センター

組織概要 保存科学研究センターは、文化財の保存科学・修復技術に関する調査・研究を行うナショナルセンターとしての役割を担っている。科学的な方法を用いて、文化財を取り巻く環境の調査や文化財の材料及び構造に関する調査を行い、文化財の保存や理解に役立つ知見の集積・発信を行っている。また、文化財の置かれた環境履歴を調査し、適切な修復材料・技術の改良・開発、評価及びメンテナンス手法に関する研究を行っている。得られた研究成果は紀要『保存科学』を通じて、すみやかに公開している（ウェブにてフリーアクセスコンテンツ）。これらの知見をもとに、「文化財の虫菌害に関する調査・助言」「文化財の材質・構造に関する調査・助言」「美術館・博物館等の環境調査と援助・助言」「文化財の修復及び整備に関する調査・研究」の4項目について、地方公共団体に対して協力を行い、地域の文化財保護の質的向上に寄与している。また、国立文化財機構内の2研究所・4博物館に加え、2018（平成30）年7月に設立された文化財活用センターの保存修復担当の研究員を保存科学研究センターの併任とし、文化財の構造・材質調査や文化財の保存管理上の課題解決等について、相互に連携して、随時取り組む体制を構築している。さらに、2020（令和2）年10月に設立された文化財防災センターの東日本ブロック中核拠点として、地域防災体制の構築や多様な文化財の防災・減災のための技術開発等に取り組んでいる。

保存環境研究室

博物館・美術館など展示・収蔵施設における文化財の安全な保存環境の確立のため、温度湿度、光、空気汚染物質などが文化財に与える影響を調べ、劣化を抑制する研究を行っている。劣化因子の測定方法の基準化を図るとともに、各施設の担当者と連携し、現場での環境モニタリングや、改善のための実証研究も行っている。災害等における一時保管場所の保存環境の整備に関する研究に重点を置いている。

分析科学研究室

様々な科学的分析手法によって文化財の構造・材質を調査し、劣化状態を含む文化財の物理的・化学的な特徴を明らかにする研究を行っている。X線や光を使った非破壊的な手法を中心に、各種可搬型機器を用いた調査方法の開発とその応用によって、文化財の構造・制作技法のみならず美術史・工芸史・考古学等との連携により制作年代・生産地研究などへ視野を拡げ、文化財の総合研究を実現、牽引している。

生物科学研究室

昆虫やカビなど、生物による文化財の劣化機構の解明とその防除方法に関する調査研究を行っている。博物館や美術館などの展示・収蔵環境にある文化財、歴史的建造物や古墳などの屋外にある文化財の生物が原因となる劣化現象の発生原因と解決方法について調査研究を行うとともに、生物が発生・繁殖することによる観覧者や作業員などの人体への影響も視野に入れた対策の開発に力を入れている。

修復計画研究室

文化財の持つ本質的な価値をできるだけ改変することなく次の世代へと伝えていくために、その文化財を構成する材料の特性を確認し、それが置かれている環境を調査し、適切な修復と保存の方針を策定していくための研究を行っている。併せて、通常環境においてだけではなく、自然災害等による文化財の被害を最小限に止めるための計画策定に関して、防災・災害後の保全処置の両面において研究を進めている。

修復材料研究室

膠や漆などの伝統的材料、近代になり開発され使用されてきたものなど、従来文化財修復に使用されてきた修復材料の評価と改良を行うとともに、新しい修復材料の開発評価、及び修復への適用方法の検討を行っている。併せて、安全な文化財修復を実現するために、文化財の伝統的制作技法や材料製作に関する調査研究を行っている。

修復技術研究室

水害や地震、火災によって被災した文化財、また、近代に制作された大型構造物や機械器具、工業製品など多様な材料から成る文化財について、保存修復処置技術に関する新しい材料や技法に関する情報収集、技術・材料の調査及び開発を行っている。これらの文化財を、その特性や来歴を含め、次世代に適切に伝えていくための保存手法・保存活用、防災計画のあり方等を研究している。

保存科学研究センター長	建石 徹*1	(保存科学、防災)
保存環境研究室長	秋山 純子	(保存科学)
分析科学研究室長	犬塚 将英	(物理計測)
生物科学研究室長	佐藤 嘉則	(微生物生態学)
修復計画研究室長	朽津 信明	(地質学)
修復材料研究室長	早川 典子	(高分子化学)
近代文化遺産研究室長	建石 徹*1	(保存科学、防災)
研究員	倉島 玲央	(有機化学)
研究員(文化財防災センター)	水谷 悦子	(環境工学)
研究員	芳賀 文絵*1	(保存科学)
アソシエイトフェロー	中村 舞	(保存科学)
アソシエイトフェロー	鳥海 秀実	(絵画保存修復)
アソシエイトフェロー	島田 潤*1	(昆虫学)
研究補佐員	岡部 迪子	(保存科学)
研究補佐員	相馬 静乃	(保存科学)
研究補佐員	白石 明香	(保存科学)
研究補佐員	中村 恵里花	(染色技術)
研究補佐員	高橋 佳久*2	(保存科学)
研究補佐員	紀 芝蓮*2	(保存科学)
研究補佐員	小野寺 裕子	(保存修復)
研究補佐員	矢花(篠崎) 聡子*3	(分子生物学)
研究補佐員	山田 祐子	(絵画保存修復)
研究補佐員	平戸 杜飛*4	(保存科学)
事務補佐員	小安 友利恵	
客員研究員	酒井 清文*2	(酵素工学)
客員研究員	藤井 義久	(木材科学)
客員研究員	北原 博幸	(建築環境学)
客員研究員	本多 貴之	(高分子分析)
客員研究員	山本 記子	(装飾修理技術)
客員研究員	貴田 啓子	(保存科学)
客員研究員	岡田 健	(文化財学)
客員研究員	片山 葉子	(環境微生物学)
客員研究員	宇高 健太郎	(東洋絵画材料)
客員研究員	苅田 重賀	(航空史)
客員研究員	簡 佑丞*2	(土木史)
客員研究員	古田嶋 智子	(保存科学)
客員研究員	稲葉 政満	(製紙科学)
客員研究員	伊庭 千恵美*1	(建築学)
連携併任	富坂 賢	(東京国立博物館)
連携併任	鳥越 俊行	(東京国立博物館)
連携併任	和田 浩	(東京国立博物館)
連携併任	瀬谷 愛	(東京国立博物館)
連携併任	横山 梓	(東京国立博物館)
連携併任	大原 嘉豊	(京都国立博物館)
連携併任	福士 雄也	(京都国立博物館)
連携併任	降幡 順子	(京都国立博物館)
連携併任	荒木 臣紀	(奈良国立博物館)
連携併任	木川 りか	(九州国立博物館)
連携併任	志賀 智史	(九州国立博物館)
連携併任	渡辺 祐基	(九州国立博物館)
連携併任	高妻 洋成	(奈良文化財研究所)
連携併任	脇谷 草一郎	(奈良文化財研究所)
連携併任	田村 朋美	(奈良文化財研究所)
連携併任	松田 和貴	(奈良文化財研究所)
連携併任	柳田 明進	(奈良文化財研究所)
連携併任	吉田 直人	(文化財活用センター)
連携併任	間瀬 創	(文化財活用センター)

*1 令和3年4月1日付採用

*2 令和4年3月31日付退職

*3 令和3年12月31日付退職

*4 令和3年4月1日付採用、12月31日付退職

組織概要 文化遺産国際協力センターは、文化遺産の保存修復及び調査研究の分野においてわが国が国際協力を推進するためのナショナルセンターとしての役割を担っており、国内外の教育研究機関や民間団体等とも連携しながら、世界各地で積極的な協力活動を実施している。その活動内容は、文化遺産保護に関する国際情報の収集・研究・発信、文化遺産保護国際協力事業の実施、文化遺産の保存修復に関する技術移転・人材育成協力等、多岐にわたっている。

国際情報研究室

国際社会における文化遺産に関する理念や法制度等、文化遺産の保護制度や施策に関して、国際動向や国際協力等の情報を収集・分析している。また、国際研修等を通じて情報発信している。

保存計画研究室

アジア諸国等の文化遺産の保存・管理・整備・活用に関し、現地政府機関等と協力しながら、調査研究及び計画立案、さらには事業実施にあたっての技術的助言等を行っている。また、紛争や自然災害時における被災文化遺産の救済や復興活動にも協力している。

技術支援研究室

文化遺産の修復手法や材料及び技術に関する調査研究や人材育成への協力など、技術移転を通じて諸外国への支援を行っている。

文化遺産国際協力センター長	友田 正彦	(建築学)
国際情報研究室長	西 和彦 ^{*1}	(建築学)
保存計画研究室長	金井 健	(建築学)
技術支援研究室長	加藤 雅人	(製紙科学)
主任研究員	前川 佳文	(壁画保存修復)
主任研究員	安倍 雅史	(考古学)
アソシエイトフェロー	牧野 真理子 ^{*2}	(考古学)
アソシエイトフェロー	境野 飛鳥 ^{*3}	(保護制度)
アソシエイトフェロー	間倉 裕生 ^{*4}	(考古学)
アソシエイトフェロー	五木田 まきは ^{*4}	(文化資源学)
アソシエイトフェロー	五嶋 千雪 ^{*3}	(現代美術)
アソシエイトフェロー	浅田 なつみ	(建築学)
アソシエイトフェロー	牛窪 彩絢	(宗教学)
アソシエイトフェロー	ヴァル エリフ ベルナ	(建築学)
アソシエイトフェロー	片淵 奈美香	(染織品保存科学)
アソシエイトフェロー	清水 綾子	(東洋絵画保存修復)
アソシエイトフェロー	藤井 郁乃 ^{*5}	(保護制度)
アソシエイトフェロー	邱 君妮 ^{*6}	(博物館学)
アソシエイトフェロー	前田 康記 ^{*7}	(建築学)
アソシエイトフェロー	松浦 一之介 ^{*7}	(考古学・景観保護)
アソシエイトフェロー	大川 柚佳 ^{*8}	(西洋絵画保存修復)
研究補佐員	藤澤 綾乃	(考古学)
事務補佐員	石田 智香子	
事務補佐員	岡崎 未来	
事務補佐員	廣野 都未	
客員研究員	大河原 典子	(日本画)
客員研究員	杉山 恵助	(東洋絵画修復)
客員研究員	山田 大樹	(地域計画)
客員研究員	境野 飛鳥 ^{*9}	(保護制度)
兼務	二神 葉子 ^{*10}	(文化財情報資料部)
兼務	石村 智 ^{*10}	(無形文化遺産部)

- * 1 令和4年3月31日付転出
- * 2 令和3年8月31日付退職
- * 3 令和3年7月31日付退職
- * 4 令和4年3月31日付退職
- * 5 令和3年4月1日付採用
- * 6 令和3年9月1日付採用
- * 7 令和3年10月1日付採用
- * 8 令和3年10月18日付採用
- * 9 令和3年8月1日付採用
- * 10 令和4年3月31日付兼務解除

特任研究員

飯島 満 (古典芸能)
中山 俊介 (船舶工学)